

令和6年度沼津市障がい者自立支援協議会 第2回全体会

日時：令和7年1月28日（火）午前10時30分から

場所：サンウェルぬまづ 2階大会議室

1. 開会

（内川副会長あいさつ）

2. 議題

(1) 沼津市障がい者自立支援協議会の開催状況について

① 個別支援会議の開催状況について

「資料1-1」～「資料1-4」に基づき、事務局から説明。

（質疑）

Q 件数が例年より少ないようだが理由がわかるか？

A 特に把握していない。件数が少ないことは認識している。

② 運営部会の開催状況について

「資料2」に基づき、事務局から説明。

③ 専門部会の開催状況について

資料に基づき、各専門部会から説明。

「資料3-1」日中活動専門部会

「資料3-2」地域移行専門部会

「資料3-3」居宅生活専門部会

「資料3-4」療育・教育専門部会

「資料3-5」就労専門部会

「資料3-6」相談専門部会

（質疑）

Q 参加数が少ないということだが、各部の対象数と参加数は？

A 相談部会：相談部会は11事業所あるが、かなりの率で参加いただいている。

就労部会：正確な数はわからないが、50近くの事業所があり、11月の会議には35事業所くらい参加している。回を重ねるごとに参加事業所が増えてきている。

療育・教育部会：児童発達支援事業所、放課後送迎サービス、障がい児相談の3事業合わせて40弱の事業所あり、参加率は7割を超えている。また、各特別支援学校の皆さんや教育児童関係の行政の方も毎回参加しており、非常に参加率の高い専門部会であると認識している。

居宅生活部会：事業所全体数は把握していないが、いつも参加する事業所は5から6事業となっており3分の1程度が参加している。

日中活動部会：事業所全体数は把握していないが、大体毎回30事業所が参加している。事業所の内訳は、生活介護の事業所とグループホームとなっている。生活介護の事業所は社会福祉法人の事業所が主で、グループホームは民間の株式会社等が参加している。

地域移行部会：相談支援事業所2か所、病院2か所、グループホーム連絡会から交代で参加、家族会併せて8あり、ほぼ全てが毎回参加している。グループホーム連絡会は1法人1人参加で27くらいの事業所、グループホーム自体は40くらいあるので5割から7割くらいの参加と認識している。

(2) 日中サービス支援型グループホームの評価について

「資料4」に基づき、事務局から説明。

3. その他

- ・今後、沼津という地域の障害者福祉の質を上げていくためには、行政と事業所が協力して研修ができるような風土を作っていくことが大事との発言があった。
- ・東部特別支援学校では個別避難計画の策定の動きがある。自立支援協議会の中で課題として扱うことができると、有事に備え考えていけるのではないかとこの発言があった。
- ・島田、焼津、藤枝3市合同で実施された身体障がい者の団体等の研修会について、事例報告があった。
- ・沼津特別支援学校は福祉避難所の指定に向けて動いており、福祉避難所に指定された場合、発災時に沼津特別支援学校で避難所生活をしている精神障害の子どもたちが一定数いるということを承知してもらえると心強いとの発言があった。